

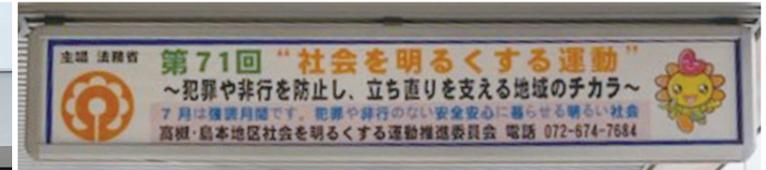
高槻地区保護司会だより

(事務局) 高槻市社会福祉協議会内
〒569-0065 高槻市城西町4番6号
☎ (072) 674-7684

(責任者) 高槻地区保護司会
会長 松本 大
(編集) 広報部



人はみな
生かされて
生きてゆく
更生保護ネットワーク



第71回 “社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

#生きづらさを、生きていく

第71回“社会を明るくする運動”はパレード、中央集会そして地区集会が中止となり、懸垂幕の掲示やパネルの配布等を行うことにとどまりました。今年のテーマは「#生きづらさを、生きていく」です。

新型コロナウイルスは人と人との交流を断ち切り、孤独化や孤立化、そして格差の拡大をもたら

しました。犯罪や非行をした人たちは社会から排除されやすく、その影響は深刻なものとなっています。このような状況の克服には、人と人とお互いに思いやり、助け合い、そして支えあう地域社会の存在が重要です。

地域のつながりを深めることによって「生きづらさ」を感じることがない社会づくりを目指していきましょう。

目次	【1面】 第71回 “社会を明るくする運動”
	【2面】 雨の日に…保護司のひとり言
	【3面】 第一期定例研修会・人事消息・新任挨拶・保護司人数
	【4面】 会員文芸欄・あとがき

— 私の保護観察日記 —

三箇牧・如是地区

西 畑 英 明

平成8年1月に保護司を拝命し、今年で25年になります。

この間、何人もの保護観察を担当しました。やはり記憶に残るのは、再犯を繰り返した人、何回も担当になった人です。中でも、ぐ犯で保護観察になったA君。記憶では、あだ名もあつた。ボクシングをしていて潰れたような顔をしていた。話し上手でいい子だった。父子家庭だった。何も悪いことをしていないのに少

年院に送られたと自分では主張していた。少年鑑別所、少年院へ面接に行った。その後、保護観察時の指導の甲斐もなく1号観察一回、2号観察を二回担当した。

彼は直接犯罪には手を出していないけれど、いつも事件の中心にいて逮捕されたと言っていた。担当観察官や私に、「楽しいはずの青春時代を自分はずっと少年院の中にいた。自分の青春を返してほしい。これから的人生は青春を謳歌していく」と訴えていた。いつも悪い友達と行動を共にしていたことが原因なので、自分の意思をもつ

て地道に人生を歩むよう論じて三度目の保護観察は終了した。

それから数年後、彼から手紙が来た。仲間と暴走行為をしていて、単車と接触し、単車が転倒、運転手が死亡する事故が発生。「今度は自分が暴走行為の首謀者だったので実刑判決が出て収監されている。これまでの指導に比べられずに済みません」と書いてあった。私はもう73歳、保護司活動も最終コーナー。残された期間、皆様のご協力を得てつとめたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

— 随 筆 —

保護司8年を

ふりかえって

高槻・大冠地区

長谷川 良 三

まだまだ経験の浅い8年ですが振り返ってみると、担当した対象者は保護観察・環境調整(再犯を含め)20人。内訳として、男性は少年13人、成人5人、女

性は少年1人、成人1人、犯罪内容については、交通5人、窃盗8人、傷害1人、詐欺1人、薬物5人です。少年14人の内、実父母で育っていたのが2人で残りの12人については母子や継父・継母での家庭でした。

少年の面談の約束日時が守れないは保護司の共通の困りごとです。少年の殆どが、親子の行動のすれ違いから家庭で

あとがき

コロナ騒動が始まってから1年半にもなる。当然、ウィルスがどの様に感染するかは明らかになってきている。にもかかわらず、的外れな愚策が反省もなく続けられ効果は認められない。変革の秋は来るのだろうか。(門)

近くに住む4年生の孫が、夏休みの宿題をもってうちに来た。教えているうちに、3年生の学習が定着していないことがわかった。昨年の一斉休校後の、「詰め込み授業」の影響があると思う。大阪で、また休校の話が出ている。今は、子ども達にタブレット端末が支給されているので、オンライン授業が可能になった。ただ、オンライン授業は、小学生には課題も多い。(関)

開催直前まで、話題に事欠かなかったTOKYO2020+1オリンピックが終わりました。開会セレモニーで、言語を問わず伝える50種類のピクトグラムが印象的でした。1824台のドローンを駆使して夜空に浮かび上がる東京五輪エンブレムから、立体の青い地球に変化するさまに感動しました。勿論全ての競技にドラマがあり58個のメダルにも感動しました。(吉)

「保護司会だより」会員文芸欄等の原稿を募集しています

— 投稿大歓迎!! —

作品の内容は自由ですが、会報の性格上「更生保護活動」にかかわるものを期待します。

- *短文(随想・寸評・意見など、400字まで)
- *詩歌(詩・短歌・俳句・川柳・標語など)
- *その他自由作品 (原稿締切りは、5・8・11・2月末。事務局まで)

きぎょう俳壇

流星の闇より出てて闇に消ゆ
大銀河 悠久の夜渡りけり
松本 大

きぎょう歌壇

コロナの中開催されたオリンピック選手の写真元気をもらおう
社明の行事二年中止され来年の
待ち遠しい
名誉会員 澤田 浩子

生きているあゝ生きてる生きてる
奇跡の朝を今日も迎える
生きてる生かされている生きていく
他人任せの気楽な人生
愚 狂 人

雨の日に……保護司のひとり言

ある雨の日、バスに乗ったら空いていたので後部座席にゆったりと座りました。目を閉じていたら女性の声が聞こえ、聞き流していたら「窓を開けなさい」という怒声に変わりました。声のほうを見ると、5、6列前の座席から高齢の女性が私をにらんで、すぐ前を向きました。

雨が降っていましたので、窓は女性がいるところだけしか開いていません。「換気警察」というのでしょうか、コロナウィルスを極端に怖がるあまり、他人にマスクや換気を強制する人がいるようです。

高齢者はウィルスに感染すると重症化しやすいということで恐怖を感じている人が多いようです。でも、若い人でも重症化する人がいますし、高齢者でも症状が出ない人や重症になっても回復した人がいます。これは年齢のせいではなく、免疫力の差なのです。高齢者や、病気療養中の人は免疫力が弱っているため、ウィルスに感染すると重症化しやすいのです。

車内で怒鳴られて思ったのですが、犯罪をした人も同じように過度に怖がられているのではないのでしょうか。ウィルスに感染した人が治った後でも怖がられ、誰にも相手にされなかったら、今度はほかの病気になってしまうことでしょうか。同じように犯罪をした人が怖がられて無視されたり、排除されたりするようだと、再犯の可能性が高まるでしょう。

ウィルスがなくなるのなら、健康度を向上させ、免疫を作ることが大切です。健康になるためには食事や運動も大切ですが、精

神的な安定が必要で、そのためには周りの環境が重要です。犯罪をした人に当てはめると、食事や運動は住居や仕事で、これが保証されることが立ち直りの基本となります。そして、再犯をしないという本人の決意も大事ですが、周囲の人が受け入れるという環境が大きな力となります。

こんなことを考えるのは保護司をしているからでしょう。医学が治療から予防に力を入れるようになったのと同じように、保護司の役割も犯罪をした人の更生を助けるだけでなく犯罪予防の啓発活動へと変化しています。



御所の紅葉

犯罪をした人と共に生きる、差別のない、人と人が助け合う地域社会を目指すことが大切だと思います。

車内での出来事が保護司の役割を考えるきっかけになりました。きっと女性は私が感染しないよう、換気しなさいよと呼びかけてくださったのでしょうか。にらまれたと思ったのは私の勘違いかもしれません。他人を思いやり、お互いを励ましあうような社会が“住みよい社会”であり、安全、安心な社会につながるのではないのでしょうか。そのような社会を目指して活動していきたいと考えています。

第一期 定例研修会

6月8日に予定されていましたが、緊急事態宣言のため自習となりました。

テーマ：アセスメントに基づく保護観察について

自習報告

保護観察には対象者の情報を収集し、何をどう指導するのが効果的か分析することが大切です。その分析に新たなアセスメントツールであるCFP (Case Formulation in Probation) が導入され、今年から実施されています。

CFPでは犯罪や非行を誘発する問題と改善更生を促進する要因を明らかにし、どのようにして犯罪や非行に至ったかを分析します。そして、この分析結果により処遇が決定され、観察所で「保護観察の実施計画」が作成されます。



サポートセンター前のケヤキ(楓の木)

入していましたが、新様式の報告書では全項目への記入が求められています。

保護司が対象者に寄り添う関係は変わりませんが、報告書に記入する際、対象者の問題点を再確認し、変化の有無を整理することが、次にどう寄り添っていくかのヒントになるのではないかと思います。

地区別保護司数 (令和3年9月1日現在)

〔高槻保護区〕 定数 100名			
保 護 司 会 員 数	在籍数		71名
	地 区 会 別	高槻・大冠	13名
		芥川・清水・榎田	11名
		富田・阿武野	12名
		五領・磐手	12名
		三箇牧・如是	15名
島本	8名		

新会員・自己紹介



やました きよみ
(芥川・清水・榎田地区) 山下 喜代美

昨年、定年退職(60才)をして、現在、契約社員としてフルタイムで仕事をしています。

会社生活40年よく頑張ってきたなあと思うのと、あっと言う間に過ぎてしまったことに感慨深いものを感じます。会社生活は、人に恵まれ、助けられ、ゴルフと着物着付けを楽しみながら無事に定年を迎えることが出来ましたことを幸せに感じています。ご縁があって、保護司としてボランティア活動に携わることが出来ますことに感謝しております。

計 報

名誉会員 福岡吉彦様(88歳)は去る7月31日ご逝去されました。
ここに生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

人事消息 (敬称略)

〔新任〕……………
令和3年5月25日付
(芥川・清水・榎田地区)
山下 喜代美

